

評価指標等一覧

1. 運営

(1) 病院の利用状況

① 入院機能

■病棟編成・看護基準

病棟	R7.4.1 現在		
	許可病床数	病床機能	看護体制
5階東病棟	44	急性期	7対1
5階西病棟	42	急性期	7対1
4階東病棟	45	急性期	7対1
4階西病棟	43	急性期	7対1
3階東病棟	38	急性期	7対1
3階統合病棟	51	急性期	7対1
3階西病棟	42		
ICU病床	9		
HCU病床	4	高度急性期	4対1
3階南病棟	50	回復期	13対1
計	317		

病棟	R7.11.1 現在		
	許可病床数	病床機能	看護体制
5階東病棟	44	急性期	7対1
5階西病棟	42	急性期	7対1
4階東病棟	45	急性期	7対1
4階西病棟	43	急性期	7対1
3階西病棟	42	急性期	7対1
3階統合病棟	47	急性期	7対1
3階東病棟	38	急性期	7対1
ICU病床	9		
HCU病床	4	高度急性期	4対1
3階南病棟	50	回復期	13対1
計	317		

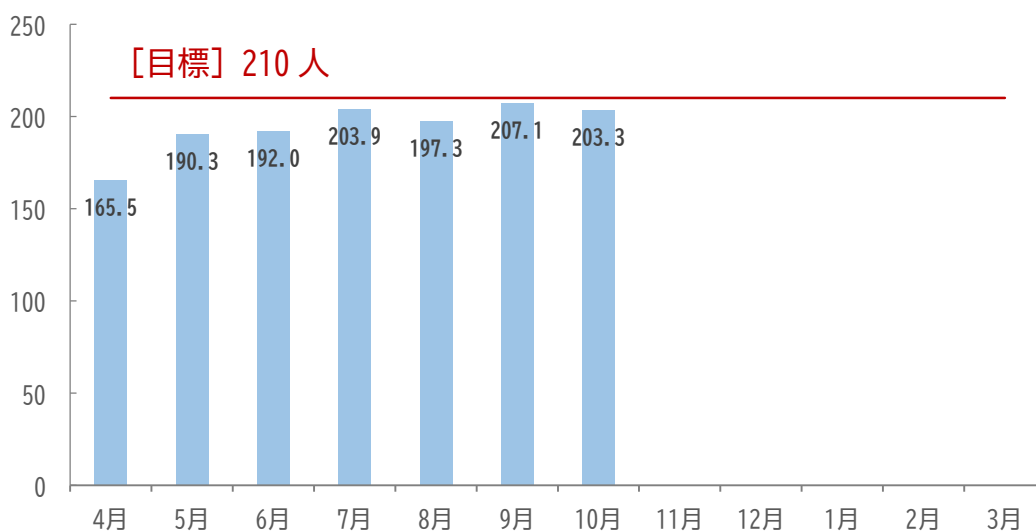
■病床の運用状況

(単位:床)

		急性期	回復期	計
許可病床数		267	50	317
届出病床数	R7.4.1	241	50	291
	R7.9.1	267	50	317
運用病床数	計画上の下限値	162	35	197
	R7.4.1	162	35	197
	R7.5.1	205	35	240
	R7.9.1	267	50	317

■一日平均入院患者

(人/日)



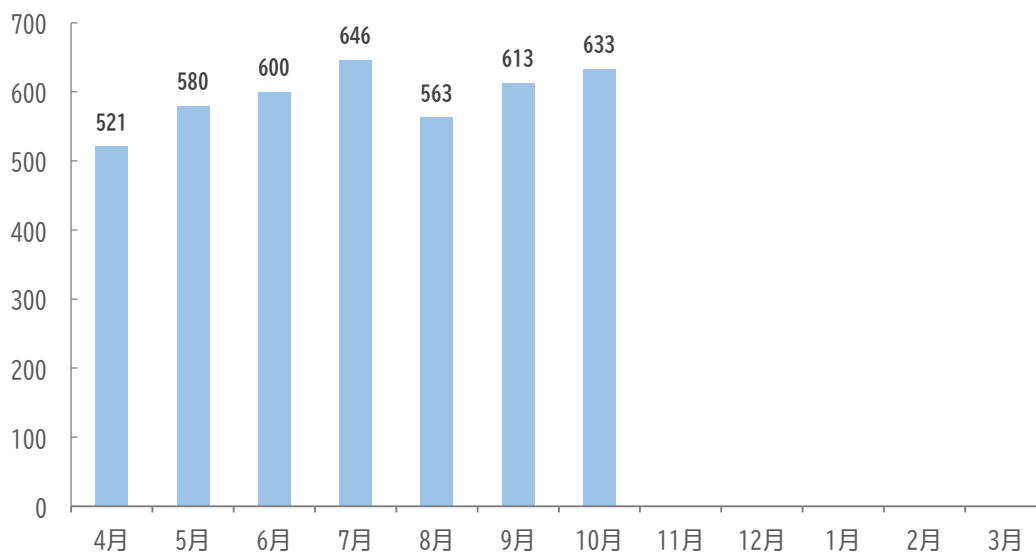
[内訳]

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	目標値
急性期	135.8	160.6	165.2	174.7	172.9	178.9	175.1	180
回復期	29.7	29.7	26.8	29.2	24.4	28.2	28.2	30

■新規入院患者数

(人)



■病床稼働率・利用率(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	通算	目標
稼働率	57.6	65.8	66.6	70.9	68.1	71.4	70.8	67.3	66.2
急性期	56.9	66.6	68.8	72.9	71.4	74.0	73.2	69.1	67.4
回復期	61.1	61.2	55.1	60.7	50.8	57.9	57.9	57.8	60.0
利用率	52.2	60.0	60.6	64.3	62.2	65.3	64.1	61.3	—

注) 「稼働率(%)」=(在院患者延べ数+退院患者延べ数)÷(許可病床数×診療延べ日数)×100

「利用率(%)」=在院患者延べ数÷(許可病床数×診療延べ日数)×100

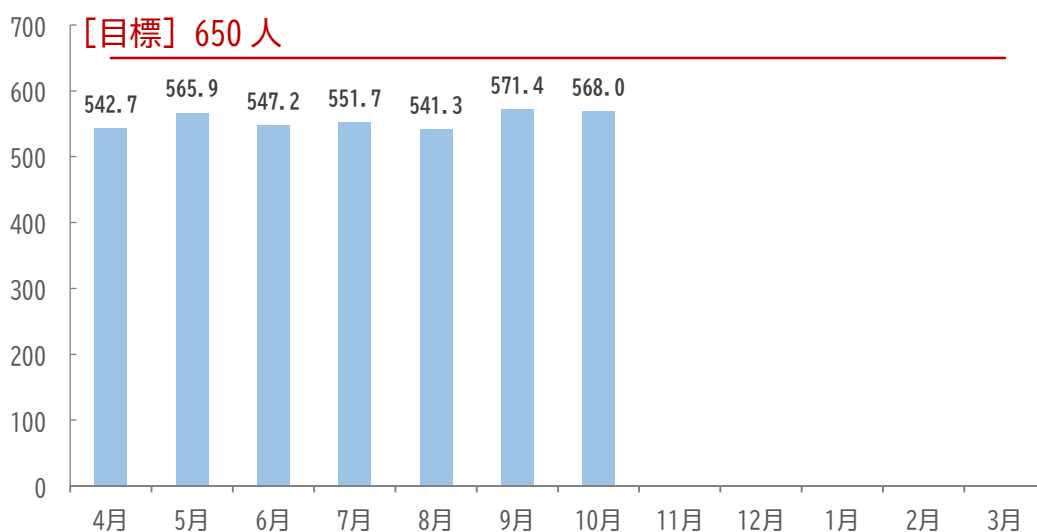
■平均在院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	通算
急性期	9.4	10.3	10.2	10.3	10.6	10.4	10.1	10.2
回復期	30.5	33.4	30.2	27.0	25.0	28.0	36.6	29.8

② 外来機能(実績)

■一日平均外来患者

(人/日)



③ その他

■紹介率・逆紹介率(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	通算	目標
紹介率	83.0	84.0	84.5	82.4	74.8	82.2	79.4	81.6	77.0
逆紹介率	90.3	93.3	87.9	93.8	89.1	102.2	103.4	94.2	85.0

■診療報酬

		4月～10月実績
診療単価	入院(急性期)	81,647円(目標:72,000円)
	入院(回復期)	36,912円(目標:36,000円)
	外来	16,140円(目標:16,000円)

■ホームページアクセス数

57,960ビュー (4～10月の月平均)

(2)病院の経営状況

■別紙 1「箕面市立病院 2025 年収支(4～10 月分)」

(3)病院の機能

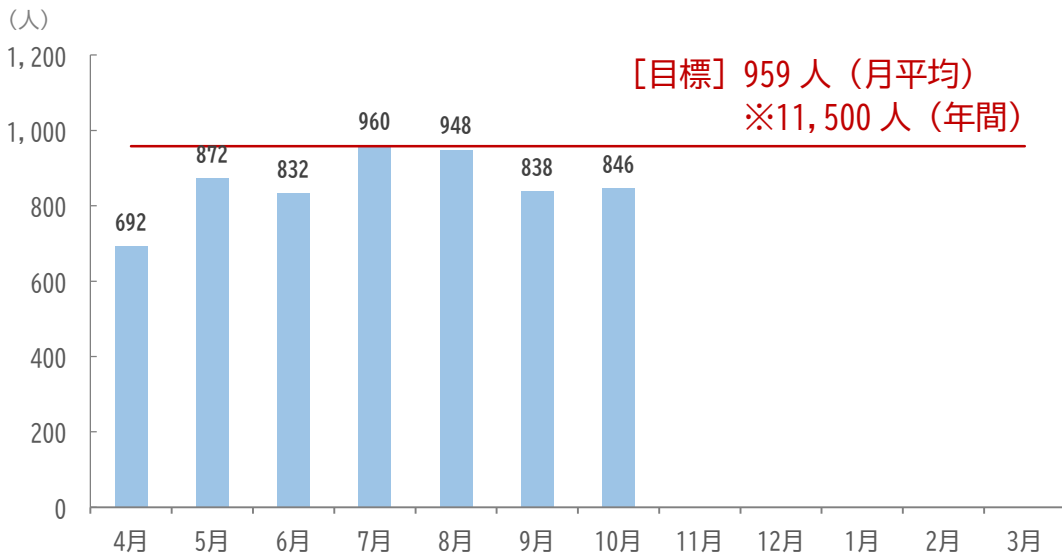
■別紙 2「施設基準届出一覧」

■別紙 3「学会等施設認定一覧」

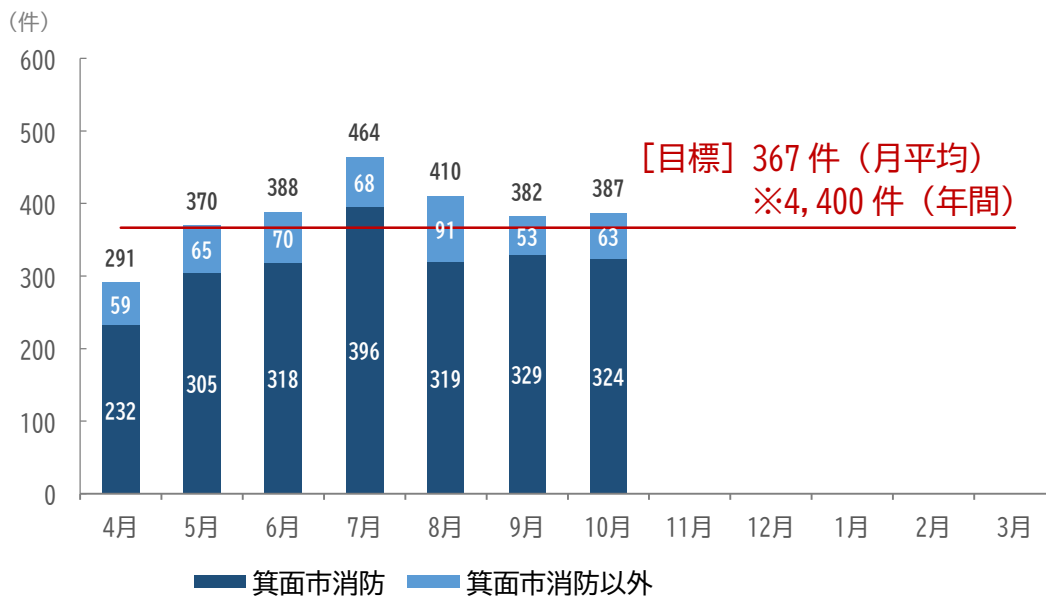
2. 医療サービス

(1)救急医療の提供

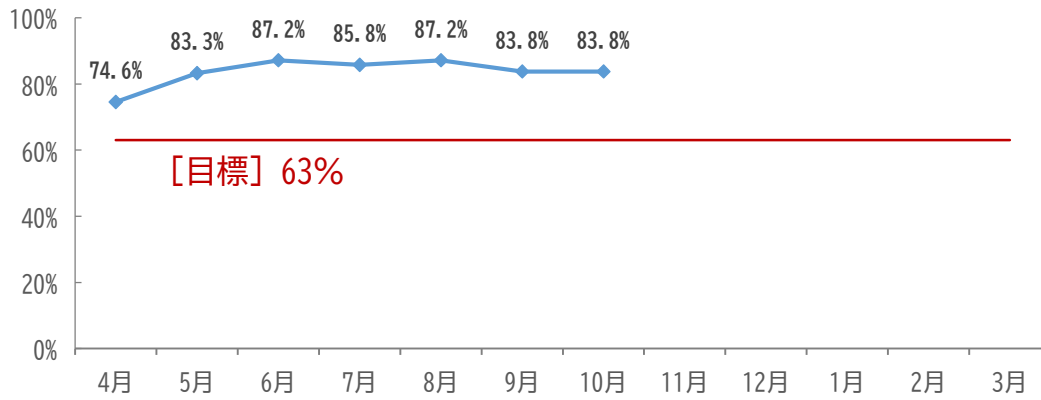
■救急患者数



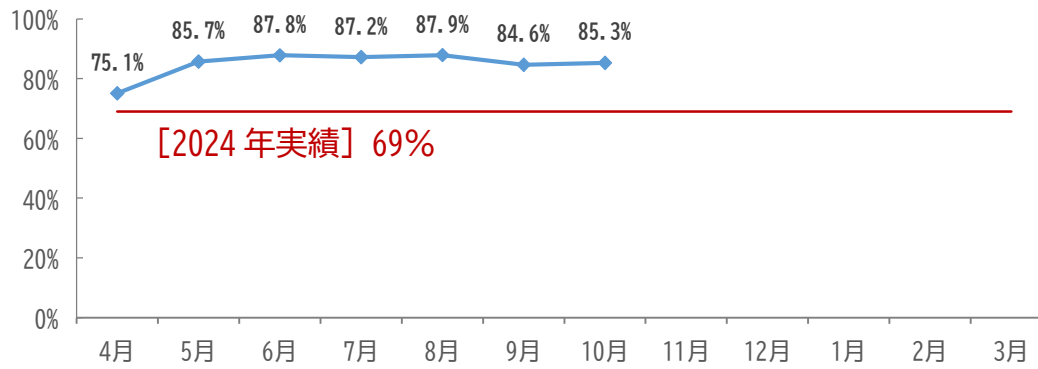
■救急車受入件数



■救急応需率(全体)

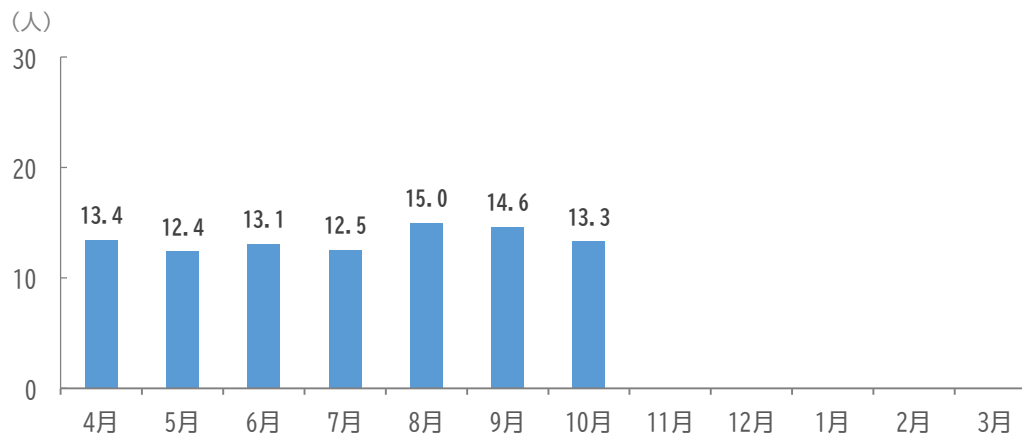


■救急応需率(箕面市消防からの要請)

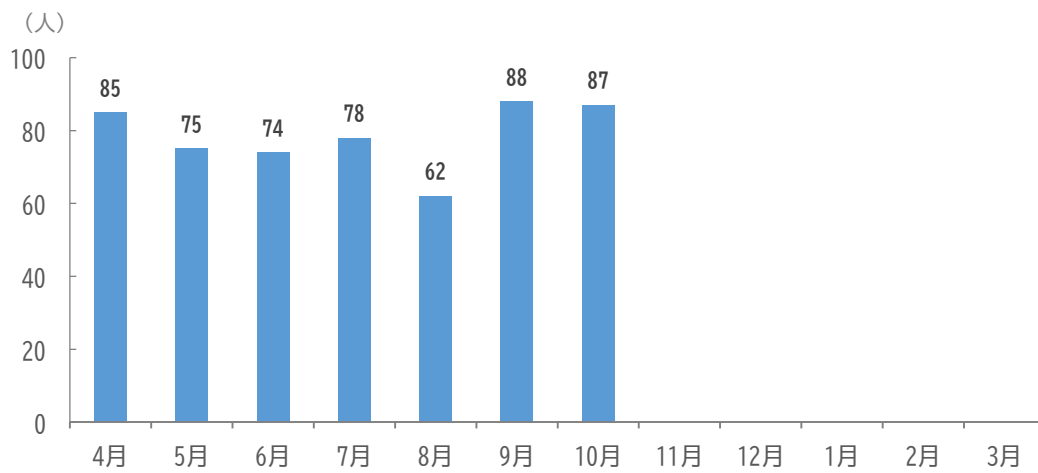


(2)小児医療の提供

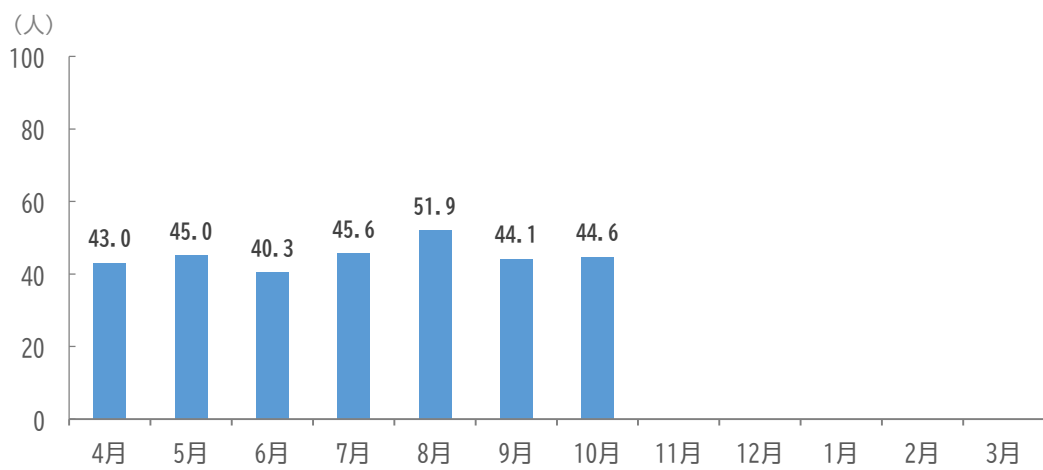
■1日平均小児入院患者数



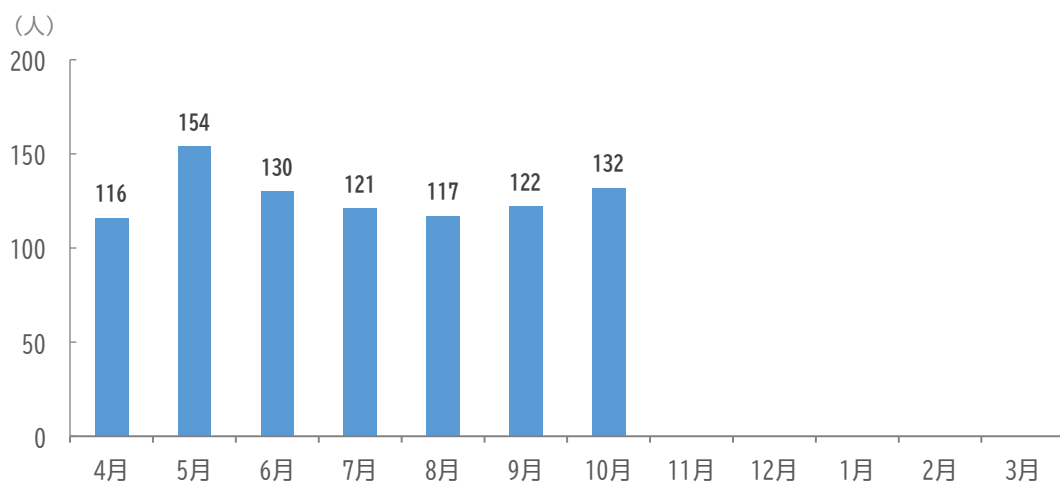
■新規入院患者数



■1日平均小児外来患者数



■小児救急患者延べ数



(3)新興感染症、災害への対応

■新興感染症対応への取り組み

大阪大学大学院医学系研究科感染制御学教室と連携し、同教室所属医師に毎週1回来院いただき、多角的に感染対策等を検証し、対策を講じている。

新興感染症が発生した場合は、新型コロナウイルス感染症への対応で培った経験を活かし、国内感染症発生初期から診療スペースの確保や感染疑い患者の動線について、感染症の状況に応じて体制を整備していく。

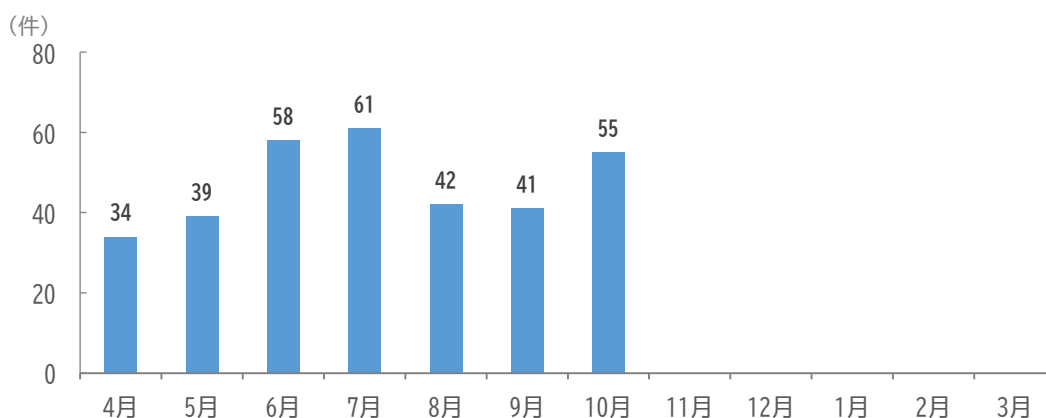
■災害対応への取り組み

市立病院が「市災害医療センター」としての役割を担うため、「大阪府災害時医療救護活動マニュアル」や「箕面市地域防災計画」等の関連計画や、指定管理に係る協定書及び業務仕様書に基づき、計画やマニュアルを整備した。

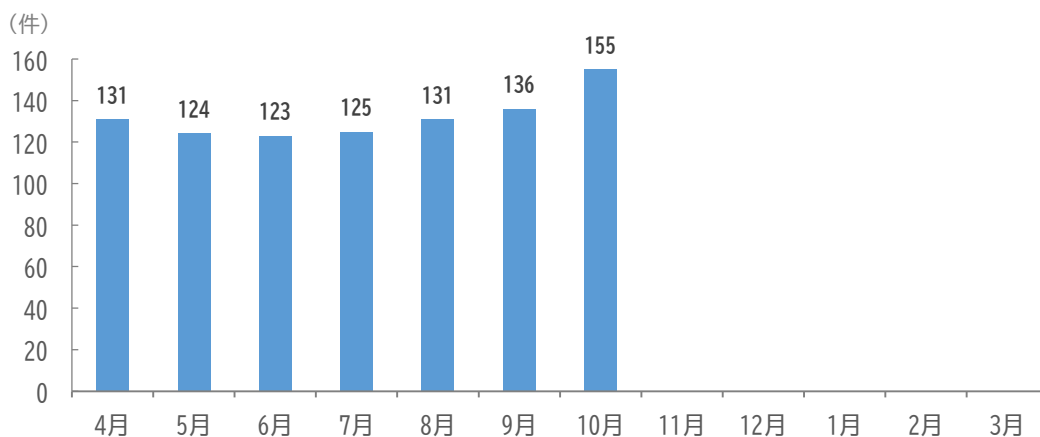
また、消防法に基づく年2回の消防訓練及び年1回の防災訓練を病院独自に行うほか、箕面市の災害対策本部運営訓練や大阪府の広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練等、関係機関が実施する訓練にも参加し、火災や局地的災害の他、広域災害発生時の対応力向上にも努めている。

(4)がんへの対応

■がん手術件数(内視鏡手術も含む)



■化学療法件数

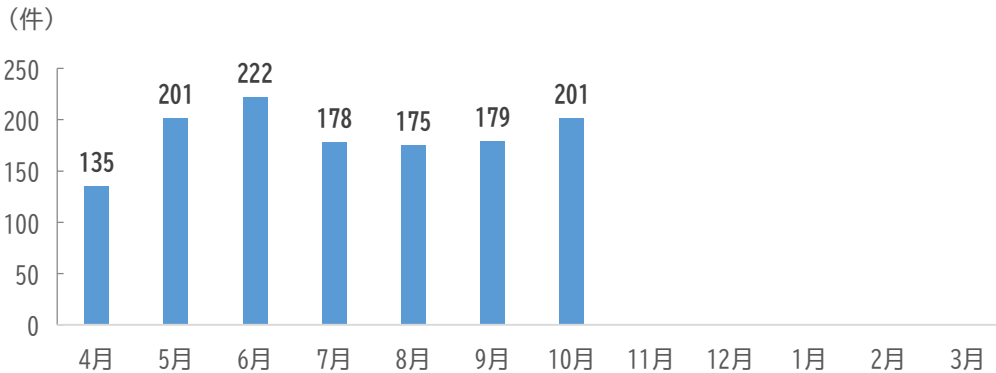


■がん診療への取り組み

○患者支援センターの取り組み

がんの治療・療養、緩和ケアに関し、患者や家族からの相談に認定看護師を中心に医師やMSW(メディカル・ソーシャルワーカー)などからなるチームで対応。

[相談件数]がん相談件数(4月～10月)



○その他

- ・ 医師や認定看護師、MSW(メディカル・ソーシャルワーカー)などからなる緩和ケアチームにより、毎日の回診及び週1回の患者カンファレンスを実施。
- ・ がん診療連携拠点病院として、地域の医療機関職員の参加のもと、緩和ケア研修会や北摂緩和ケア研修会を実施するほか、市民医療講座、がんサロン「ゆず」、箕面モデル勉強会、中学校・高校への出前授業を定期的で開催。
- ・ がん患者指導管理料、緩和ケア診療加算、がん患者リハビリテーション料等の診療報酬を算定。

(5)脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患への対応

■脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患への対応

脳卒中など脳血管疾患や神経難病に対して脳神経外科及び神経内科で対応しているものの、脳神経外科医が1名のため、手術を要する患者等の受入が困難な状況である。心疾患系に対して循環器内科が対応しているものの、時間外でのカテーテル治療が必要な患者や、不整脈治療が必要な患者の受入が困難な状況にある。これら対応困難な患者については、大阪大学医学部附属病院や国立循環器病研究センターなどとの連携を図っている。

■糖尿病への取り組み

○糖尿病の新規入院患者数 9.1人/月(4～10月平均)

○その他

- ・ 市民等を対象に、糖尿病教室や市民講座を複数回開催するとともに、糖尿病デーの取り組みとして教室も開催。
- ・ 院内では毎月定例で事例検討会を実施。
- ・ 在宅自己注射指導管理料、栄養食事指導料、糖尿病透析予防指導管理料等の診療報酬を算定。

■認知症への取り組み

○新たな診療(初期のアルツハイマー型認知症患者の治療)の実施

豊能医療圏では数少ない治療実施病院として初期のアルツハイマー型認知症患者に対する抗アミロイドβ抗体薬(レケンビ・ケサンラ)を用いた治療を開始した。

<治療実績(令和7年4月~10月実績)>(実患者数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
6	7	8	9	10	11	12

○その他

- ・認知症ケア・せん妄ケアチームの設置し、認知症を合併する患者や環境の変化等によりせん妄状態となる患者の療養環境を整え、ケアの質の向上を図っている。
- ・箕面市が設置する「認知症施策推進会議」への精神科医師派遣や、「認知症初期集中支援チーム」への参画等により、行政との連携を密にするとともに、認知症に関する市民への広報・周知活動、市内医療機関との連携を通して、早期治療へとつなげている。

(6)その他急性期医療等

■腹部ヘルニアセンターの設置

腹部ヘルニアの治療ニーズが高まる中、2025年4月に腹部ヘルニアセンターを設置し、腹腔鏡手術を中心とした治療を開始。

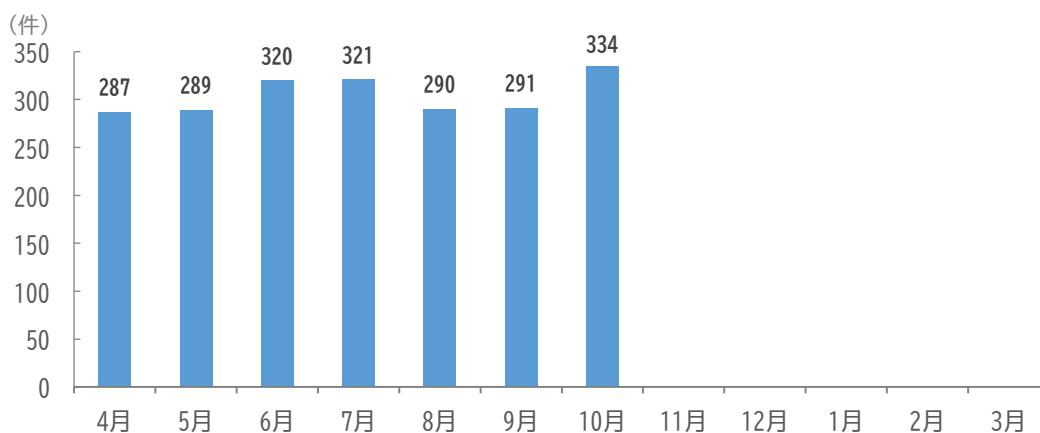
■地域の医療機関への周知の強化

「病院だより」や「みのり一ふ」を発行するとともに、箕面市医師会との共催のもと「病診連携懇談会」を開催し、乳腺センター、ロボット手術センター、人工関節手術センターの取り組みを紹介するなど、集患に向けた取り組みの強化を図った。

■妊婦を対象としたRSウイルスワクチン接種を開始

「赤ちゃんを守る」取り組みとして、妊娠24週から36週までの妊婦を対象に、RSウイルスワクチン接種を開始。(妊婦負担:3,000円)

■手術件数



■分娩件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
6	6	6	11	3	8	3	43

■急性期リハビリテーション実施状況

(単位数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
運動器	971	1,008	767	1,052	791	1,052	1,023
呼吸器	684	888	888	1011	729	566	701
脳血管	203	290	513	412	353	388	390
廃用症候群	1,275	1,123	1,207	1,461	1,322	1,272	1,399
心大血管	226	127	92	54	72	34	50
がん	133	132	153	91	161	86	90
総計	3,492	3,568	3,620	4,081	3,428	3,398	3,653

(7)回復期医療の提供

■リハビリテーション実施単位数

(単位数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
運動器	2,653	2,934	2,714	3,018	2,967	2,960	3,298
呼吸器	199	60	74	92	262	247	41
脳血管	920	1,219	1,555	928	577	534	802
廃用症候群	309	241	96	272	227	133	146
心大血管	59	0	18	50	0	0	0
総計	4,140	4,454	4,457	4,360	4,033	3,874	4,287

(8)その他

■救急患者連携搬送料(下り搬送)連携先の確保

<下り搬送先> 社会医療法人愛仁会 井上病院、特定医療法人ダイワ会 大和病院

■回復期病床を有する病院との連携

千里中央病院と転院パスを作成し、当該パスを他の回復期病床を有する病院に拡大する予定。

3. 患者サービス

(1) 患者支援の取り組み

■入退院支援の体制や取り組み等

入院前から退院後の生活を見据え、患者の状態に応じた支援体制や地域との連携、外来と病棟との連携等を充実・推進することを目的に、入院サポートセンターを設置した。

(2) 満足度の向上

■接遇向上

多職種で構成される患者サービス委員会が中心となって、①接遇の啓蒙ポスターによる強化週間の設定、②キラ☆人さん(接遇で輝いているスタッフ)の選定・紹介、③接遇マニュアルの作成、④接遇研修の実施に取り組んでいる。

■苦情対応

患者相談窓口の設置のほか、「みなさまの声」(投書箱)、病院ホームページからの「お問い合わせ」などにより、患者等の相談や意見に対応している。

■患者満足度アンケート調査の実施

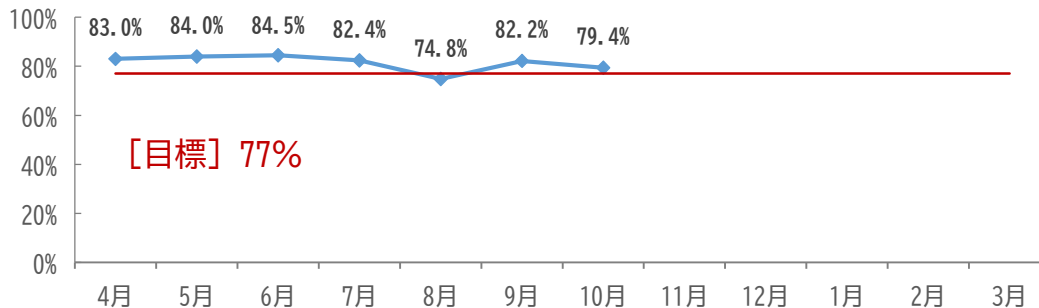
外来・入院患者の当院の医療サービスの満足度を調査することにより、患者のニーズを把握し、今後の病院運営に役立てるため、2025年11月に実施。

〔調査対象者数〕 入院患者 200人 外来患者 1,000人予定

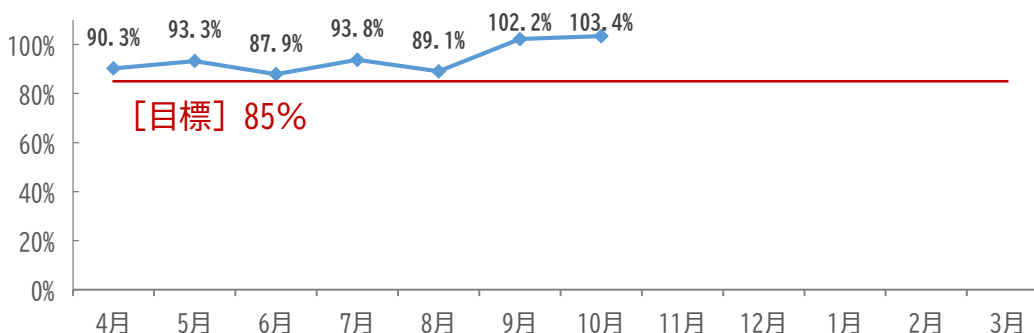
4. 地域医療との連携

(1) 紹介・逆紹介の状況

■紹介率(再掲)

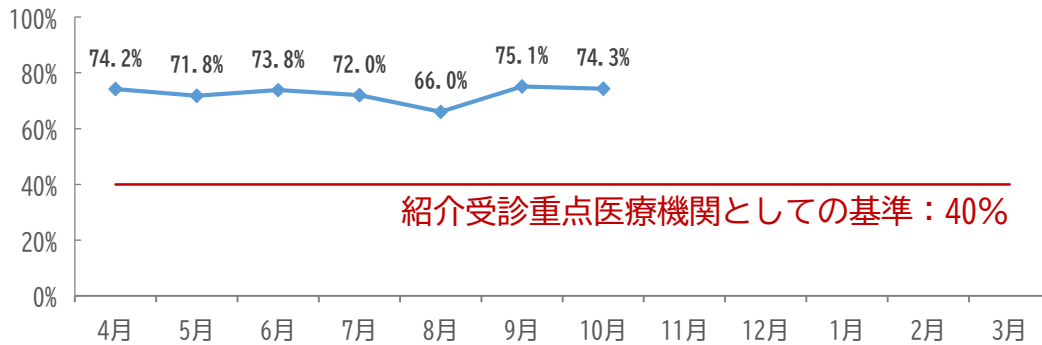


■逆紹介率(再掲)

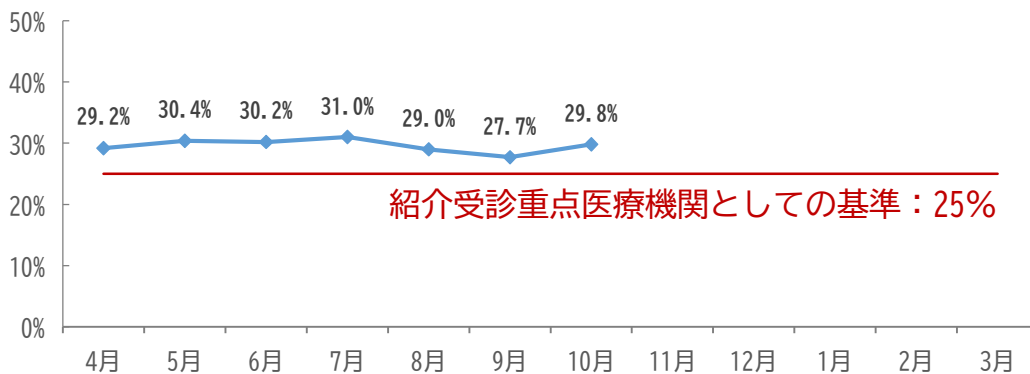


(2)その他

■重点外来初診率



■重点外来再診率



■退院前カンファレンス実施件数

- ・基本的にはすべての患者に対し退院前カンファレンスを実施している。
- ・退院時共同指導料2（退院後の在宅医療を担う医療機関等と一緒にカンファレンスを実施した場合に算定）の算定件数は次のとおり。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
9件	17件	14件	16件	10件	8件	15件	89件

(3)地域医療との連携に係る取組

- ・当院主催で病診連携懇話会、地域医療・介護連絡会などを定期的を開催するとともに、大阪府や箕面市が主催する大阪府がん診療連携協議会等の各種連携会議にも積極的に参加している。
- ・様々な地域連携パスを運用しており、特にがん地域連携パスにおいては、7種のがんで148医療機関と、脳卒中連携パスでは急性期8医療機関・回復期27医療機関との連携を図っている。
- ・地域医療ネットワークシステム（ケアミル）により、現在、地域の55医療機関とカルテ共有や診察・検査のWeb予約を行える体制を構築している。
また、大阪大学医学部附属病院とは、ID-LINKシステムを利用し双方の電子カルテの一部が参照できるよう構築している。

5. 医療安全確保の取組

■インシデント・アクシデントレポート／グッドジョブレポート※報告件数(4月～10月実績)

		件数
インシデントレポート		1,238件
アクシデントレポート	3b	19件
	4a	1件
	4b	0件
	5	0件
グッドジョブレポート		76件

※インシデント・アクシデントレポート:ヒヤリハット事例や起きてしまった事故の報告

※グッドジョブレポート:事故を未然に防いだ事例や、効果的な対応の報告

■院内体制の整備等

- ・「医療の質・安全管理室」を設置し、インシデント・アクシデント事例の収集・分析、再発防止策の立案・周知、医療安全研修の企画・実施などに取り組み、組織横断的な医療安全対策を推進している。
- ・法人全体としては、重要事例の情報共有、統一した対応フロー図の運用、相互ラウンドによる危険箇所の発見、職員全体研修等を実施している。
- ・地域における取り組みとしては、大阪刀根山医療センターと年1回医療安全対策に関する評価を相互に行うほか、巽今宮病院、箕面中央病院、ガラシア病院を年1回訪問し、医療安全対策の実施状況等を評価し、地域全体での医療安全対策の改善・向上を図っている。

6. 職員の確保・育成

(1) 職員確保に向けた取組

■職員数の状況（4月1日時点）

	常勤	非常勤	計
医師	104人	5人	109人
看護職員	254人	63人	317人
医療技術職員	128人	26人	154人
事務職員	53人	26人	79人
その他	30人	31人	61人
計	569人	151人	720人

■時間外勤務の状況(4月～10月実績)

	時間外勤務時間 (月平均)	1か月 45時間超の人数 (月平均)	年間 360時間超の人数
医師	32.4時間	36.1人	
看護職員	5.5時間	0.3人	
医療技術職員	6.5時間	1.1人	
事務職員	6.0時間	2.4人	
その他	0.5時間	0人	

■職員確保の取組

- ・ 学生実習、医学部学生の受入れ、臨床・後期研修の受入れにより、人材育成・教育病院としての役割を果たすとともに、職員の確保につなげている。
- ・ 医学生及び研修医を対象としたリクルート活動として、就職フェアや就職説明会に出展するとともに、関係ウェブサイトにて情報を掲載。
- ・ 医師以外の新卒採用については、法人本部主導で実施し、特に看護師、助産師、薬剤師採用では病院奨学金制度による安定した採用人数を確保。
- ・ 看護師、助産師の採用は、箕面市が創設した「箕面市看護師等確保対策 就職支度補助金・生活支援補助金」や協和会の「入職支度金制度」を活用したリクルート活動を実施。

(2) 障害者雇用に向けた取り組み

- ・ 障害者雇用率（令和7年4月1日時点） 0.83%
[参考] 法人全体（令和7年6月1日時点） 2.11%（法定雇用率は2.5%）
- ・ 一般財団法人箕面市障害者事業団と連携し、見学やトライアル就労などを積極的に受け、雇用促進を行っている。

(3) 職員の能力育成に向けた取り組み

全職員を対象とした医療安全研修等に加え、法人が主催する新任～管理職までの各ステージに応じたキャリア開発支援やスキルアップ研修を計画的に受講。